

### 1. 教育の責任

経営学部「いきいきキャリア分野」および学部共通科目のキャリア教育分野を主に担当している。また、実社会で起こる問題解決に取り組んだり、地域貢献を通じて社会への眼差しを育む「フィールドスタディ」、思考力の強化を目指す「ロジカルシンキング」など、幅広い分野を担当する。

- 担当授業：キャリアデザインⅠ・Ⅱ／働くことを考えるⅠ／ロジカルシンキング／キャリア形成と社会／フィールドスタディⅡ／職業選択演習／職業選択演習応用／経営学の扉（オムニバス）／名著名作から人生を考える（オムニバス）

### 2. 教育の理念

- 「自己を見つめる」：授業では、社会問題に関する自分なりの考えをまとめたり、日々の活動の中に現れる自分らしさを振り返るといった「自己を見つめる」ことを重視している。
- 「共に学ぶ」：自分なりの学びや気づきを、クラスメンバーとのディスカッションやディベートで共有し、中で多様な価値観に触れる機会を大切にしている。
- 「教育は、折に触れて」：情報を伝えることにとらわれず、学生同士の会話や学内での出来事、日常生活で目にしたものを学びのテーマに結びつけ議論するなど、機会があるごとに大切なメッセージを伝える「生きた学問」の実践を心がけている。

### 3. 教育の方法

- 多様な価値観に触れる機会提供：教育の理念である「自己を見つめる」・「共に学ぶ」を実現するため、安心して受講し対話できる環境づくりを心がけている。例えば、事前課題で自分なりの考えを共有する準備をしたり、オンラインディスカッションボードを活用して授業外に自由な議論の場を設けるなど、豊かな協働関係がもたらされる工夫を行なっている。授業の中では多様な意見、観点を尊重し、率直な疑問や不安、異なる意見を個人が特定されない形で積極的に紹介し、学生が多様な価値観に触れられる工夫を取り入れている。
- 主体的な学びを提供するための工夫：学生自らが学びの意味を見出すことができるよう、「自ら調べ・行動し・考え・気づく」機会を提供している。授業では知識教授だけでなく、ディスカッション、グループ調査、フィールド見学、体験とその振り返りなどを通じた学びを提供している。さらに、常に自分なりの意見を持てるように、振り返り（リフレクション）の時間を十分に設けることを重視している。

### 4. 教育の成果

- 学生からの評価：学生による授業評価では「自分のことを考えるきっかけになった」や「自分のことについて知れた」、また「他の人の意見を聞くことで学びになった」等、自己を見つめる機会と、共に学ぶ機会が評価された。さらに学生の一部は、多様な体験や学びの自分なりの意味を的確に振り返り、自分なりの行動指針（持論やモットー）を持つことができるといった成果が見られた。
- 地域社会からの評価：地域貢献活動を基に経営学の学びを習得する「フィールドスタディⅡ」は、その活動内容と経営学教育への貢献が読売新聞阪神版に掲載され地域社会からも高い評価を得た。また実習先からも学生の参加がフィールドにもたらしたポジティブな変化が高く評価された。

### 5. 改善への努力と今後の目標

学生が「自ら調べ・行動し・考え・気づく」機会を提供するだけでなく、学生のアウトプットや振り返り（リフレクション）へのフィードバックも重要な学びの機会になると考える。今後は、教員からのフィードバックだけでなく、学生同士のフィードバックの仕組みを構築し、学びの深化を進めたい。

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：経営学部 名前：三宅 麻未 作成日：2024年2月20日

### 【添付資料】

「働くことを考えるⅠ」授業アンケート

読売新聞掲載記事

## 2023年度春学期 授業アンケート集計結果(科目別)

授業コード : 40675

授業科目名 : 働くことを考える

担当教員名 : 三宅 麻未

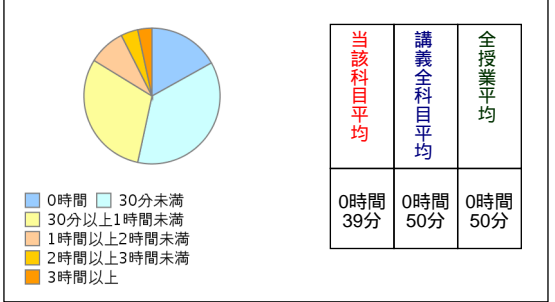
受講者数 : 184 名

回答者数 : 148 名

### A. 「アンケートに答えるにあたって」に関する各設問(1~2)

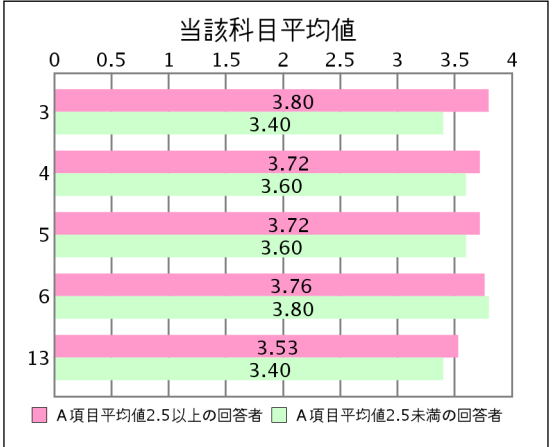
設問項目	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり そう 思わない	4 そう 思わない	平均値		偏差値
					当該科目	講義全科目	
1 あなたは、この授業によく出席しましたか？	116	26	5	1	3.74	3.73	50.3
2 あなたは、予習・復習など自主的な学習努力をしましたか？	43	54	41	10	2.88	3.27	40.2
1~2合計・平均値	159	80	46	11	3.31	3.50	42.6

### E-14. この授業についての1週間あたり平均の授業外学習時間



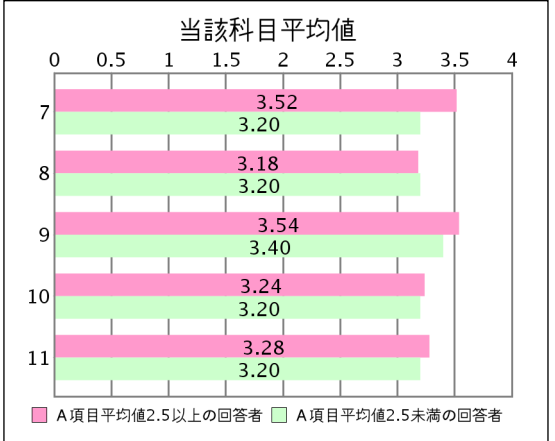
### B. 授業への評価に関する各設問(3~6,13)

設問項目	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり そう 思わない	4 そう 思わない	平均値		偏差値
					当該科目	講義全科目	
3 この授業に対する教員の熱意を感じましたか？	119	26	3	0	3.78	3.66	53.9
4 授業の内容は授業概要(シラバス)に沿っていませんか？	108	38	2	0	3.72	3.69	50.9
5 教材・資料の提示は適切でしたか？	109	37	1	1	3.72	3.67	51.8
6 授業の組み立て、時間配分は適切でしたか？	114	33	1	0	3.76	3.62	54.3
13 あなたは、この授業を全体としてどう評価しますか？	82	62	4	0	3.53	3.50	50.8
3~6,13合計・平均値	532	196	11	1	3.70	3.63	52.8



### C. 授業の効果に関する各設問(7~11)

設問項目	1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり そう 思わない	4 そう 思わない	平均値		偏差値
					当該科目	講義全科目	
7 あなたは、授業内容をよく理解することができましたか？	82	60	5	1	3.51	3.46	51.3
8 自発的な学習が促されましたか？	57	65	22	4	3.18	3.33	46.3
9 有用な知識や情報を修得できましたか？	84	61	1	2	3.53	3.60	47.7
10 この授業内容をさらに勉強したいという意欲がわきましたか？	58	70	17	3	3.24	3.34	47.4
11 この授業を履修して、思考力、行動力、表現力などといったC-PLATS能力が伸びたと思いますか？	60	73	11	4	3.28	3.32	48.8
7~11合計・平均値	341	329	56	14	3.35	3.41	48.1
1~11,13合計・平均値	1032	605	113	26	3.49	3.52	48.9



### D. C-PLATS効果について

12	伸長したと思う能力 (C-PLATS)	人数										平均
		63	55	32	38	11	38	48	14	30	31	
		48.8%	42.6%	24.8%	29.5%	8.5%	29.5%	37.2%	10.9%	23.3%	24.0%	-
	シラバス設定値	2	2	2	1	1	2	2	1	2	1	-

各設問の回答値は人数。  
平均値は、1=4ポイント、2=3ポイント、3=2ポイント、4=1ポイントで集計し、算出したもの。  
偏差値は、授業形態「講義」「演習」「実技」「実験」「実習」の中での当該科目の数値。  
授業外学習時間の全科目・全授業平均は全科目・全授業の単純平均値。

【思考基盤能力】  
分析力  
創造力  
計画力  
論理的思考力

【行動基盤能力】  
プレゼンテーション力  
行動力  
コミュニケーション力  
リーダーシップ

【社会的基盤能力】  
チームワーク  
社会的責任

## 2023年度春学期 授業アンケート集計結果(科目別)

授業コード	: 40675
授業科目名	: 働くことを考える
担当教員名	: 三宅 麻未

受講者数	: 184 名
回答者数	: 148 名

あなたが良いと思った点と改善してほしいと思った点を自由に記述してください。

### A 良かった点

- ・ PBLの授業で、企業の方が来てくださり、そこで学んだことがいっぱいあった。
- ・ どのクラスでもトピックを通してこの授業の学習を復習することができるので、とても良いと思った。
- ・ 実際に実践する機会があり、実感しやすかった。
- ・ ゲスト回があること
- ・ 話し合う時間がある
- ・ ぜんぶ
- ・ 課題で復習する
- ・ 自分の強みなどを内省を通して知れたところ
- ・ 実践することが多くて分かりやすかった。
- ・ 人間関係の大切さを改めて知れる
- ・ 話が聞きやすい
- ・ 自分と向き合う機会をいただけたことが、良いと思いました。
- ・ 先生から授業にたいする熱意を感じた点が良いなと思いました。
- ・ 先生がとても意欲的で授業にとっても真剣でした
- ・ 例え話が分かりやすかった
- ・ 楽しい授業でした。
- ・ 先生から授業に対する熱を感じられたこと
- ・ これからの大学生活で重要なことを知れたと思った。メモの取り方など、ほかの授業で役立つことも知れた。
- ・ 他の会社の人を呼んでいただいてとても楽しかったです。
- ・ とても詳しい資料
- ・ 自分の将来を少しだけ明確にできたこと
- ・ ゲスト回
- ・ 毎回の課題で振り返りを書くので内容を忘れずらい。
- ・ すべて
- ・ とても楽しかった
- ・ 授業資料がわかりやすくて、先生のしゃべるペースもちょうどよくて面白かった。
- ・ 先生の話が上手でした。
- ・ 社会人の話を聞いてそれをまわりの人と話をしてさらに深く知れることがとても良かった
- ・ この講義では、働くことを考えるだけでなく、人間関係のコツや内省のコツについて学んだが、どれも生きていくうえでとても大切なことであると思った。
- ・ なし
- ・ 教師の熱量
- ・ 先輩や企業の方の話を聞くことができたこと
- ・ 内省の授業が多かった
- ・ 動画を撮りあらてるので理解しやすかったところです
- ・ 授業でワークをするので眠くならない
- ・ なし
- ・ 自分のことを分かるようになったのは良かったです
- ・ 働くことを考えるの授業を受けることによって、自分についての理解が深まった。社会に出るまでにやったことがいいことなど知ることができました。
- ・ 仕事について深く考える機会ができた
- ・ 他の授業では聞けない、逃げてもいいことなど私に届くことが多かったです。
- ・ 先輩方の話を聞いて、今後の大学生活のためになる話を教わりました。
- ・ みんなが気にしているような人間関係についてやメモの取り方を詳しく知れてよかったです
- ・ 授業で考えたりするのが楽しかった
- ・ 先生の熱い思いが胸に届きました。その思いがあって良かったです。
- ・ この授業から自分のことを深めに理解できて良かったです
- ・ 働くことについて学べた
- ・ まず三宅先生の講義の取り組みがいい。始める時間は時間通りにして終わるときは少し早く終わるためそのために頑張れる。あとシンプルに優しいのと講義がわかりやすい
- ・ 自分の内省について考えたこと
- ・ 内省の仕方を知れた

- ・ 企業から来ていただいた社会人ゲストからの言葉を聞くことができる機会があったことで、社会のことを生で聞くことができ、より実感が湧くことができた。
- ・ ない
- ・ 祝日などの出席は加点してくれること
- ・ 既に社会人になった人たちからの話を聞いたことがためになってよかった
- ・ ゲストスピーカーの話が面白かった。
- ・ 仕事に関することについて深く学ぶことができたこと。
- ・ 先生の熱意が感じられる
- ・ 振り返りをたくさんできた。
- ・ 学生への配慮ができていた点
- ・ 毎回授業の初めにみんなのコメントを出して紹介する点
- ・ 職場の生の声を聴けた
- ・ 今社会に出ている人たちのリアルな話を聞いて良かったです
- ・ とてもよく聞きました。多くの先輩の経験はとても役に立ちます。
- ・ ゲストの方々の話があったことです。
- ・ 大学時代に自分がやりたいことを見つけられる。
- ・ 自分について知れること
- ・ 創造力
- ・ 時間を組み立てれるようになった
- ・ 提示資料に沿って進めていてその資料を配っていたため、いつでも見れるようにしていた点
- ・ 個人個人の行動を促すような表現が授業内でなされたこと。

## B 改善してほしい点

- ・ 特にないです。
- ・ 行動力を増えていくことが欲しい
- ・ 生徒の治安
- ・ 300文字のリフレクションは少し多かった
- ・ 授業の振り返りをするとき授業資料のみだとできないことがある
- ・ ない
- ・ 300文字はきつい
- ・ 特になし
- ・ 特にないです。
- ・ 授業中に奥の方で話している人達を名指しで注意してほしいです。
- ・ 特にないです
- ・ 300文字書くのは大変です
- ・ 特にないです。
- ・ 特になし
- ・ 特にないです
- ・ すべて
- ・ なし
- ・ 特になし。
- ・ ないです。
- ・ なし
- ・ 特になし
- ・ なし
- ・ 特になし
- ・ 特になし
- ・ 特にない
- ・ 教室が暑いです
- ・ なし
- ・ 人が多すぎるので今より少なくなったらもっと結果ができやすいと思います。
- ・ とくになし
- ・ 十分です。
- ・ 特になし
- ・ ないです
- ・ プレゼンテーションすることです
- ・ 特にありません
- ・ 特にありません。とても良い授業でした。
- ・ ない
- ・ 事後課題が中断できない

- ・ 少しペースが速くて追いつけなかったところがあった
- ・ 特にないです。
- ・ 特になし。
- ・ 最高でした。改善する必要ないです。
- ・ 特になし
- ・ なし
- ・ とくにないです
- ・ とてもおしゃべりになります。
- ・ 課題300文字
- ・ もっと大きい教室で授業したいです。
- ・ 特になし
- ・ 特にないです
- ・ なし
- ・ もう少し他人と物事について考えるキッカケになるグループワークがあればと思いました。

# 見守り活動 経営にプラス

経営学と子どもたちの見守り。一見、脈絡がない話のようだが、「ビジネスに役立つ」とらしい。大手前大（西宮市）が今年度開設した経営学部で、子ども見守り活動を講義に取り入れた。そのレポートの内容とは――。（山本啓二）

11月下旬、西宮市立安井小学校で、大手前大の学生たちが、放課後に子どもたちの勉強や宿題を手伝ったり、ボール投げで遊んだりしていた。

日が暮れて、子どもたちと別れた後、学生たちはレポートの作成のために机に向かった。



見守り活動は、人事労務管理などを専門にする大手

前大の三宅麻未講師(38)が担当する講義の一環。社員自らのキャリア形成

## 大手前大 講義取り入れ

成を重要な研究テーマにし、子どもたちは予想できないており、そのためには「他言動をするので、他人との人を理解する能力が不可欠」とする。

そこで、「自由に奔放な西宮市教委と連携して、



子どもたちに勉強を教えるなどして見守り活動をする学生

## 考える力 問題解決の糸口

講義に子どもたちの見守り活動を取り入れた。

受講した学生は1年14人。週に2回程度、見守り活動をして毎回レポートを提出する。

「実験的に複数のグループを合体させようとした」と記したのは、出口悠雅さん(19)。「一緒にゲームをするなどし、「子どもたちが仲良くなるきっかけになった。人と人との関係で力になることは、幸福感が得られることだとわかった」と報告した。

天野百合さん(19)は、「人とのつながりに感謝の気持ちが必要なことを子どもたちから学んだ。経営学にもつながっている」と話す。

三宅講師は「大学内では絶対に経験できない。子どもから教わったことに気づくことで考える力がつき、問題解決の糸口をつかむことができる。キャリア形成で非常に大事になる」と述べる。